

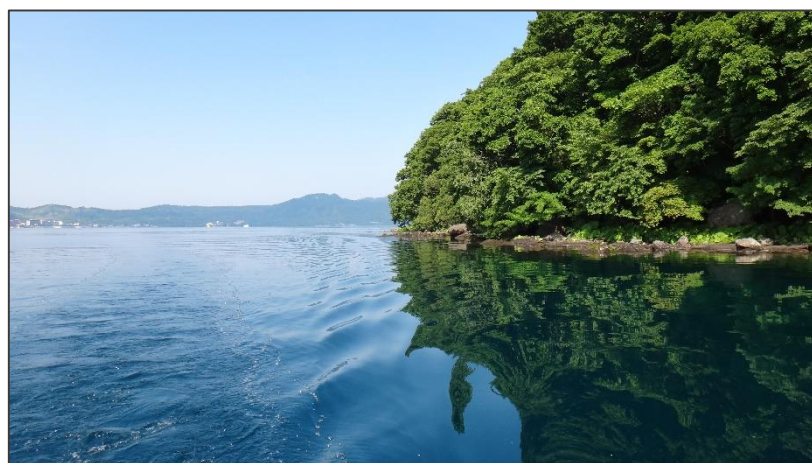
洞爺湖ビジターセンター 2015年度 自然ふれあい通信

洞爺湖ビジターセンター・火山科学館では毎月1回、洞爺湖周辺の自然と親しむ「自然ふれあい行事」を開催しています。その様子を少しご紹介します。

7月11日(土) 発見!!洞爺湖ゼロポイント



洞爺湖でも日中は半袖がちょうどよく、みじかい夏の始まりを実感できる季節となりました。湖に入りたくなるような日差しの中、湖畔の宿洞爺かわなみさんの協力で、洞爺湖ビジターセンター・火山科学館7月の自然ふれあい行事「発見!!洞爺湖ゼロポイント」を行いました。今回の行事はモーターボートで洞爺湖を疾走し、水中に沈んだ島(ゼロポイント)を目指します。ゼロポイント目指すだけではなく、普段は見られない角度から中島を観察したり、湖の最深部の水を採るなど、湖のことを深く知るプログラムを行いました。



モーターボートから見た中島(まんじゅう島)の様子。これもりとしていますが、水の中は急斜面です。



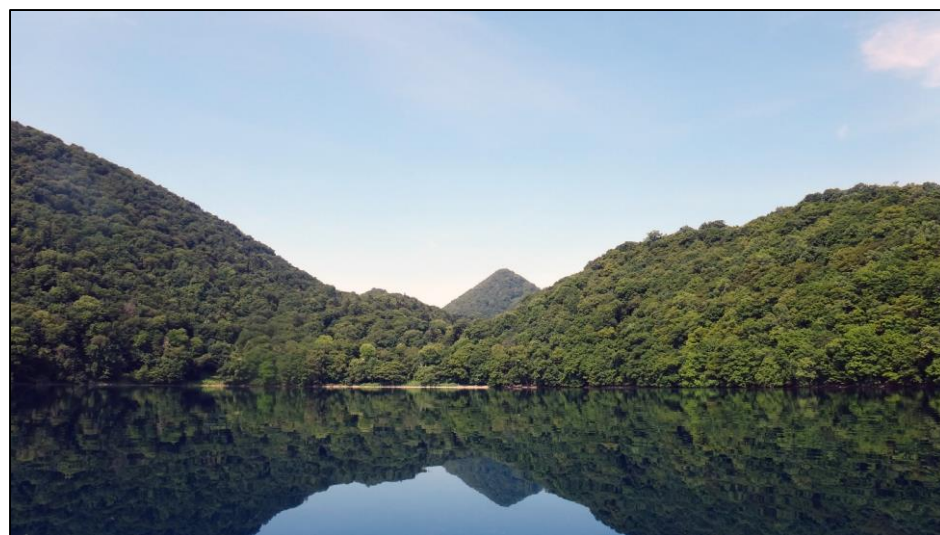
ゼロポイントから湖岸をみるとこんな感じですよ。湖の真ん中とは思えない場所です。

かわなみさんからモーターボートに乗りこみ、まず目指したのは中島群島の一つ、まんじゅう島です。外から見るとこんもりした様子のまんじゅう島ですが、水の中を見てみると急に落ちこんでおり、実はタワーのような地形なのがわかります。

つぎはいよいよゼロポイントのある中島の北東へ向かいます。「山だて」をしてゼロポイントを探してゆっくり進んでいると、いきなり浅瀬あさせが出現!!大昔の岩石がゴロゴロしています。湖の真ん中にこんな場所があったなんて、参加者のみなさまも驚おどろいていました。なお、ゼロポイントの水温は約18℃でした。

ゼロポイントから少し離れたところで水深を測ってみると、なんと180m!!今回は180m地点の洞爺湖深層水を採水器で採りました。その水の温度は約6℃。同じ湖でも水深によって水の温度は違うんです。夏場は「温度躍層おんどやくそう」が発達し、水深の深いところの水は冷たくなっています。詳しくはビジターセンターにある湖のパネル展示をご覧ください。

今回の行事では普段見られないような洞爺湖ヒミツの場所をボートで巡ったり、最深部の水を触ったりしました。何気なく見ている湖の中には、たくさんのヒミツが隠されていたんです。みなさまもそんな洞爺湖の魅力さがしの旅に行かれてみてはいかがでしょうか。



洞爺湖にはまだまだ知られていないヒミツの場所がたくさんあるかもしれません。

